

## 第8回 「会員情報交換会（三日会）」

（8月20日／横浜ベイシェラトン ホテル&タワーズ）

第8回は、当協会の副会長で相模鉄道株式会社代表取締役社長の小澤重男氏と同社の常務取締役プロジェクト推進部長の古瀬円氏より、「沿線の皆様とともにさらなる発展を目指して」というテーマで、相模鉄道株式会社の事業概要や今後の取り組み課題などについてお話をいただいた。

今回は、小澤社長のお取り計らいで横浜駅至近の横浜ベイシェラトンで開催させていただいたこともあり、65名とこれまでで最も多くの参加者数となった。

小侯会長の乾杯発声で始まった情報交換会の部では、懇談の途中で相鉄線に関するクイズが出題された。勝ち残った5名に小澤社長から景品が渡されるサプライズがあり、和やかな雰囲気での交流は、高島副会長（ナイス）の一本締めで中締めとなった。

### 【お話の概要】

・設立は大正6（1917）年で、もうすぐ100周年。  
現在の営業キロは、本線・いずみ野線・厚木線を合わせて38.1km、1日平均の輸送人員は62.5万

人で、1日1kmあたりの輸送密度（輸送量）は全国私鉄で4位、また、路線1kmあたりの保有車両は全国私鉄で3位。

・少子高齢化による利用客の減少や沿線住宅地の塾生化といった経営課題に対して、新たな沿線価値の創出や認知度、好感度の向上、スピードアップ（直通線化）などに取り組み、沿線居住意向の獲得に向けて、映画やドラマのロケ地としてPRしたり、人気キャラクターとのコラボを工夫したりしている。

・直通線事業では、西谷駅からJRの貨物線を経由し、さらに、東急東横線の日吉駅への接続により、横浜駅を経由せずに渋谷・新宿方面への移動が可能となり、所要時間も大きく短縮になる。

